

珍しい勉強会が26日、

国会内であった。自民党の村上誠一郎氏（衆院2区）が民主党議員の要望を受け、自らのテーマとする財政と外交、教育の立て直しの必要性について、与野党の垣根を越えた約10人の国会議員に熱弁を振るった。

村上氏は昨年11月、日

本が直面する課題をまとめた「日本よ、浮上せよ！」を出版。これを読んだ衆院愛知10区の杉本か

ずみ氏（民主、当選1回）

が「政治家は目の前の政局と政策に追われ、本質的な長期ビジョンを考える機会が減っている」と

講演を依頼した。

村上氏は、世界の人口

増加がピークに達するにもかかわらず、資源と食糧が圧倒的に少なくなる

永田町
えひめ

敵味方超えビジョンを

「2050年問題」など世界的な問題のほか、日本の選挙制度、社会保障まで1時間にわたり持論を展開した。

終了後「敵だ、味方だとやっているよりも、意見交換して問題を共有しておけば、政界再編や新しい組み合わせもできるのではないか」と応じた理由を説明。「他党で迷いもしたが、お願いされたら逃げるわけにはいかない」とも。（和泉太）